



Think Automation and beyond...

2026年3月期 上期 (2025年4月1日～2025年9月30日) 決算説明資料

2025年11月7日
IDEC株式会社
証券コード：6652



売 上

■ 売上高 **341億円** (前年同期比 +3.1%)

- 欧州における需要落ち込みの影響はあったものの、流通在庫が正常化していることなどから、日本や中国での販売は好調に推移
- 米国では、新設したロジスティクスセンターの立ち上げ遅れによる影響が第1四半期にあったものの第2四半期に挽回し、追加関税分の販売価格への転嫁による影響もあり、売上は伸長

利 益

■ 営業利益 **26億円** (前年同期比 +68.4%)

■ 経常利益 **29億円** (前年同期比 +98.8%)

■ 中間純利益※ **18億円** (前年同期比 +37.0%)

※親会社株主に帰属する中間純利益

- 増収効果と、構造改革による販管費の減少により、利益は大幅に改善

配 当

■ 中間配当 **65円** (前年同期 65円)

連結業績概要 <連結損益計算書> - 1



(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2025年3月期 上期		2026年3月期 上期		
	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比
売上高	33,088	100.0%	34,111	100.0%	+ 3.1%
売上総利益	14,387	43.5%	15,228	44.6%	+ 5.8%
販売費及び一般管理費	12,837	38.8%	12,617	37.0%	△ 1.7%
営業利益	1,550	4.7%	2,611	7.7%	+68.4%
経常利益	1,463	4.4%	2,909	8.5%	+98.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,281	3.9%	1,755	5.1%	+37.0%
1株当たり中間純利益 (潜在株式調整前)	43.50円	—	59.48円	—	+15.98円
米ドル平均レート(円)	152.77円		146.03円		△6.74円
ユーロ平均レート(円)	166.05円		168.05円		+2.00円
人民元平均レート(円)	21.16円		20.29円		△0.87円

連結営業損益変動要因

米国関税の影響があるものの、增收による利益増や価格改定効果に加え、プロダクトミックスの変化などによる原価率の良化、構造改革の推進による販管費の減少などにより、営業利益は前年同期比で約10.6億円増加

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



連結業績概要 <連結損益計算書> - 2



- 収益性の高い日本・米州などの地域や、HMI・安全機器の売上が伸長したことなどから、利益率が大きく改善

(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2025年3月期						2026年3月期					
	2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		4Q (1-3月)		1Q (4-6月)		2Q (7-9月)			前年 同期比
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	17,126	100.0%	16,381	100.0%	17,909	100.0%	15,736	100.0%	18,374	100.0%	+ 7.3%	
売上総利益	7,526	43.9%	7,008	42.8%	8,040	44.9%	6,643	42.2%	8,584	46.7%	+14.1%	
販売費及び一般管理費	6,248	36.5%	6,258	38.2%	6,688	37.3%	6,318	40.2%	6,298	34.3%	+ 0.8%	
営業利益	1,278	7.5%	750	4.6%	1,351	7.5%	324	2.1%	2,286	12.4%	+78.9%	
経常利益	969	5.7%	903	5.5%	1,110	6.2%	627	4.0%	2,282	12.4%	+135.4%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	980	5.7%	334	2.0%	162	0.9%	465	3.0%	1,290	7.0%	+31.5%	
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	33.29円	-	11.34円	-	5.52円	-	15.77円	-	43.71円		-	

仕向地別売上状況

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	前年 同期比
日本	11,138 (33.7%)	11,471 (33.6%)	+ 3.0%
海外	21,950 (66.3%)	22,639 (66.4%)	+ 3.1%
米州	7,100 (21.5%)	7,311 (21.4%)	+ 3.0%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	7,568 (22.9%)	7,127 (20.9%)	△ 5.8%
アジア・ パシフィック	7,281 (22.0%)	8,200 (24.1%)	+12.6%
合計	33,088 (100.0%)	34,111 (100.0%)	+ 3.1%

日本

前年同期比 **+3.0%**

- 流通在庫が正常化してきたこともあり、売上は改善傾向

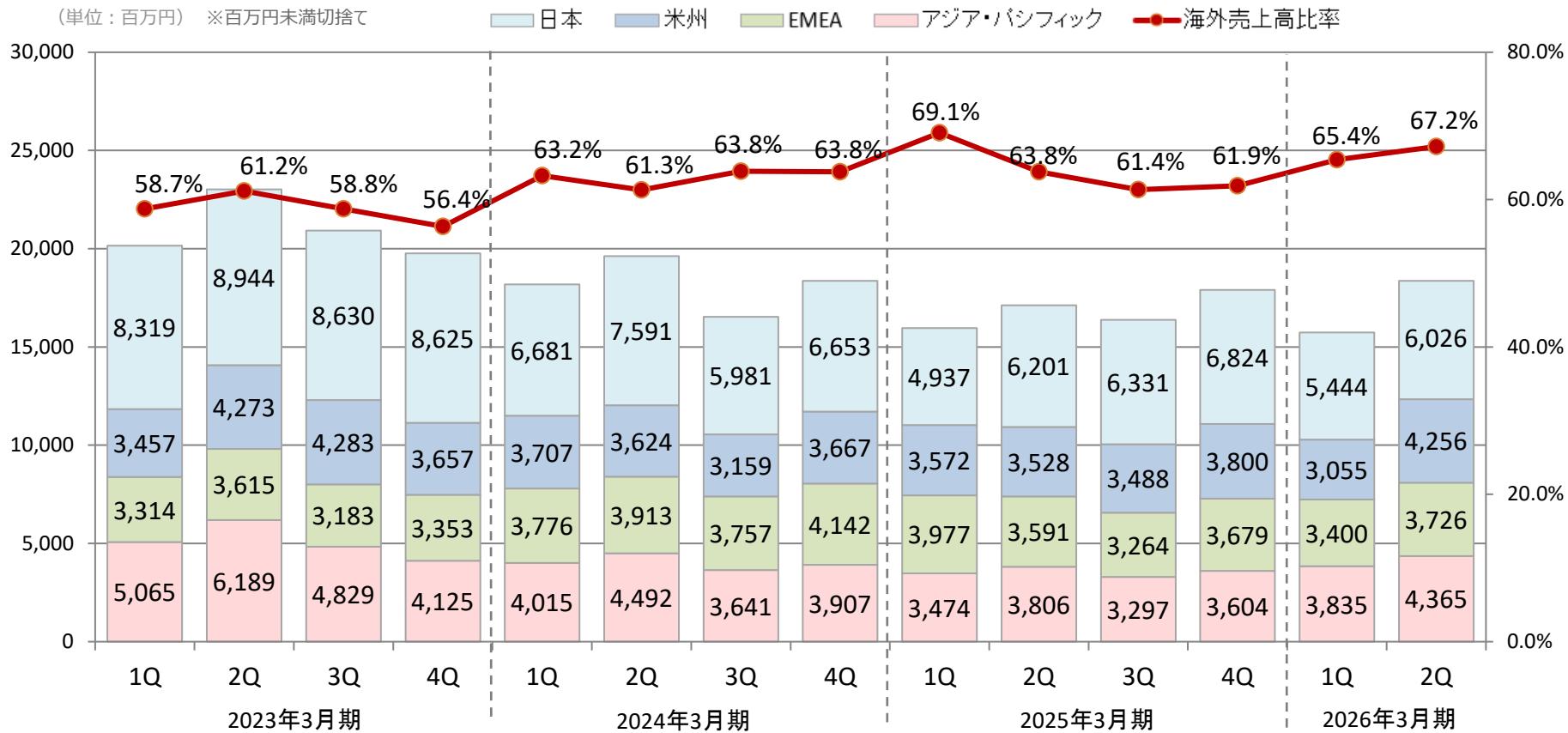
海外

前年同期比 **+3.1%**

- 米州では、新設のロジスティクスセンターの立上遅れを第2四半期に挽回したことに加え、米国の追加関税分の販売価格への転嫁による増販影響により、売上は増加
- EMEAは、欧州における主要産業の需要落ち込みにより、売上が減少
- アジア・パシフィックは、中国での自動車・半導体業界などの需要拡大や、流通在庫の正常化により、売上が増加

仕向地別売上状況 (四半期推移)

IDE



製品別売上状況

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	前年 同期比
HMI事業	16,378 (49.5%)	16,077 (47.2%)	△ 1.8%
インダストリアルコンポーネンツ事業	5,487 (16.6%)	6,281 (18.4%)	+14.5%
オートメーション&センシング事業	4,174 (12.6%)	3,442 (10.1%)	△17.5%
安全・防爆事業	5,206 (15.7%)	6,047 (17.7%)	+16.2%
システム	1,534 (4.6%)	2,261 (6.6%)	+47.4%
その他*	308 (1.0%)	—	—
合 計	33,088 (100.0%)	34,111 (100.0%)	+ 3.1%

* IDECシステムズ＆コントロールズ株式会社（太陽光発電事業）の売却等により、2026年3月期から「その他」は廃止

HMI事業

ファクトリーオートメーション向け産業用スイッチやプログラマブル表示器の流通在庫はほぼ正常化し売上が回復したものの、欧州の景気低迷や特殊車両業界の需要減少の影響などにより、売上は減少

インダストリアルコンポーネンツ事業

主力のアジア・パシフィックや北米市場において、制御用リレーなどの売上が増加

オートメーション&センシング事業

主力製品であるプログラマブルコントローラにおいて、OEM先の在庫調整による新規注文の減少により、売上は減少

安全・防爆事業

主力市場の日本やアジア・パシフィック、特に中国における安全関連機器の売上が堅調に推移

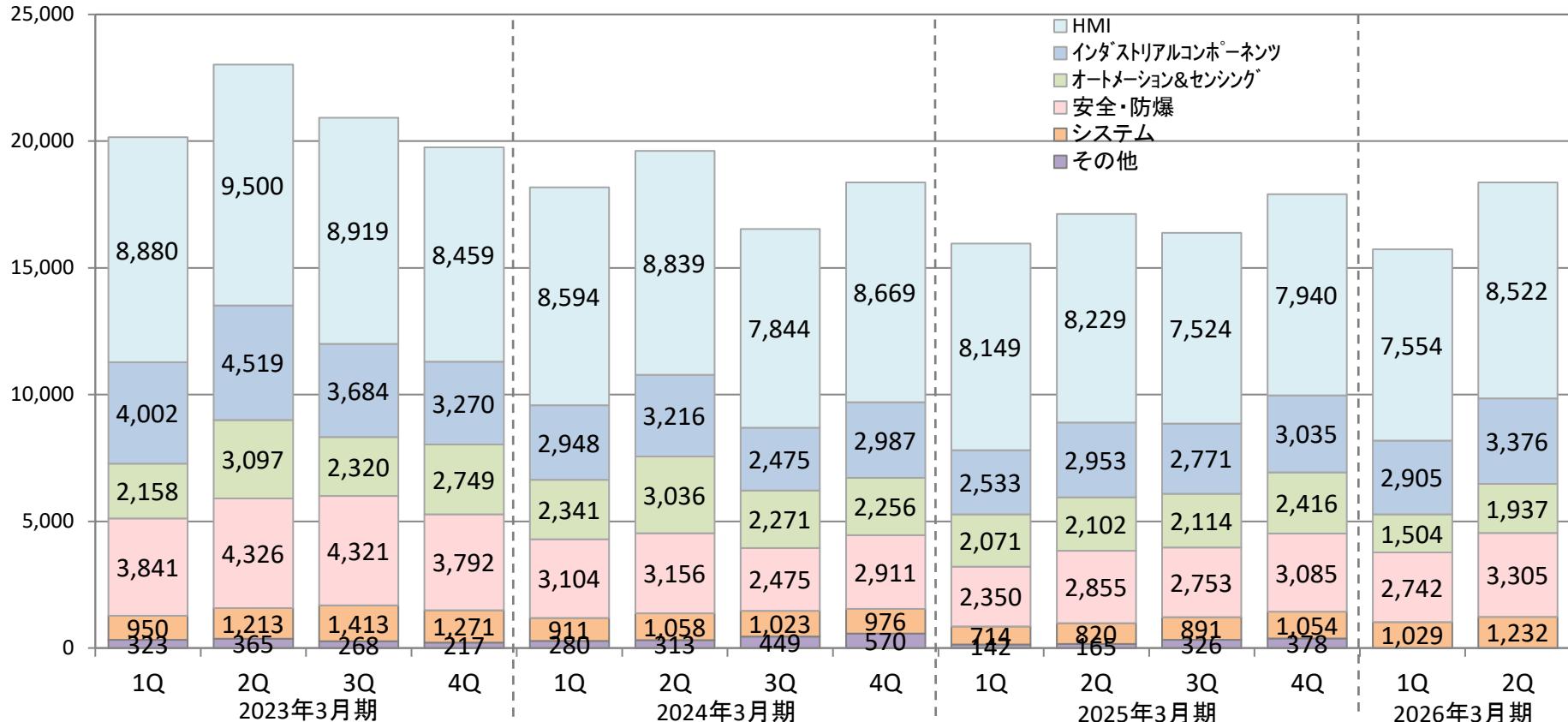
システム

アジア・パシフィックで、半導体製造設備・物流関連設備などの制御盤の売上が増加

製品別売上状況 (四半期推移)

IDE

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



受注状況

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2025年3月期 上期		2026年3月期 上期			
	受注高	受注残高	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比
日本	13,104	6,757	13,417	+ 2.4%	6,168	△ 8.7%
米州	6,772	2,611	7,510	+10.9%	2,929	+12.2%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	7,198	7,370	6,756	△ 6.1%	7,072	△ 4.0%
アジア・ パシフィック	5,367	2,585	5,429	+ 1.2%	2,591	+ 0.2%
合計	32,442	19,325	33,114	+ 2.1%	18,762	△ 2.9%

受注状況 (四半期推移)

- 日本は、流通在庫の正常化もあり、受注は回復傾向
- 米州は、建設機械やマテハン業界向け需要が減少しているものの、その他ファクトリーオートメーション業界向けは堅調に推移
- EMEAは為替の影響などもあり受注は改善傾向となっており、アジア・パシフィックは、主に中国の受注が堅調に推移

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2025年3期						2026年3期			
	2Q (7月～9月)		3Q (10月～12月)		4Q (1月～3月)		1Q (4月～6月)		2Q (7月～9月)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
日本 (太陽光発電事業を除く)	6,553 (6,407)	6,757	6,996 (6,685)	6,831	7,535 (6,320)	5,271	6,541	5,985	6,875	6,168
米州	3,369	2,611	3,229	2,453	3,908	2,611	3,557	3,191	3,953	2,929
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	3,061	7,370	3,450	7,500	3,776	7,522	2,989	7,086	3,767	7,072
アジア・ パシフィック	2,459	2,585	2,908	2,742	4,573	4,353	2,421	3,269	3,007	2,591
合計	15,443	19,325	16,584	19,528	19,794	19,758	15,510	19,532	17,604	18,762

連結業績概要 <連結貸借対照表>



資産のポイント

- 棚卸資産や固定資産が増加した一方、現金及び預金が減少したことなどにより、総資産は前期末比約9億円減少

負債のポイント

- 借入金や未払費用が減少したことなどにより、負債は前期末比約32億円減少

純資産のポイント

- 為替換算調整勘定が増加したことなどにより、純資産は前期末比約23億円増加

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2025年3月期 (前会計年度)	2026年3月期 (9月末)	前会計年度末比 増減
流動資産	51,480	48,955	△2,525
固定資産	55,736	57,361	+1,624
流動負債	27,662	23,048	△4,614
固定負債	15,744	17,132	+1,387
純資産	63,810	66,135	+2,325
総資産	107,216	106,316	△ 900
自己資本比率	58.9%	61.7%	+2.8%

連結業績概要 <連結CF計算書>



営業活動によるCF

- 棚卸資産が増加し、法人税等を納付した一方、税金等調整前中間純利益や減価償却費の計上により、約22.9億円

投資活動によるCF

- 固定資産の取得などにより約△19.6億円

財務活動によるCF

- 借入金の返済や配当金などの支出により約△48億円

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,741	2,288	△4,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,082	△1,959	△ 876
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	5,658	329	△5,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,250	△4,802	△ 551
現金及び現金同等物の期末残高	16,131	14,274	△1,856
設備投資額	1,980	2,298	+318
減価償却費	2,037	1,985	△ 51

2026年3月期 連結業績予想

2026年3月期 通期業績予想 ※修正なし



(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2025年3月期		2026年3月期		
	実績	対売上比	予想	対売上比	前期比
売上高	67,380	100.0%	68,700	100.0%	+ 2.0%
売上総利益	29,437	43.7%	30,460	44.3%	+ 3.5%
販売費及び一般管理費	25,784	38.3%	25,710	37.4%	△ 0.3%
営業利益	3,652	5.4%	4,750	6.9%	+30.0%
経常利益	3,477	5.2%	5,020	7.3%	+44.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,778	2.6%	3,450	5.0%	+93.9%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	60.36円	-	117.06円	-	+56.7円
米ドル平均レート(円)	152.62円		145円		△7.62円
ユーロ平均レート(円)	163.87円		160円		△3.87円
人民元平均レート(円)	21.11円		20.50円		△0.61円

2026年3月期 通期業績予想 ※修正なし



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2025年3月期		2026年3月期	
	実績	予想		前期比
HMI事業	31,842	33,000		+ 3.6%
インダストリアルコンポーネンツ事業	11,294	11,500		+ 1.8%
オートメーション＆センシング事業	8,705	8,500		△ 2.4%
安全・防爆事業	11,045	11,500		+ 4.1%
システム	3,479	4,200		+20.7%
その他*	1,013	—		—
合 計	67,380	68,700		+ 2.0%

*IDECKEシステムズ＆コントロールズ株式会社（太陽光発電事業）の売却等により、2026年3月期から「その他」は廃止

国内売上高	24,294	24,800	+ 2.1%
海外売上高	43,085	43,900	+ 1.9%
(海外比率)	(63.9%)	(63.9%)	

【前期比の成長率予想】

△：マイナス -：横ばい ○：拡大

業界	2026年3月期の見通し	日本	米国	欧州	中国	APAC
工作機械	欧州を除き、各地域で一定程度の成長が見込まれています。	○	○	△	○	○
半導体	半導体市場はグローバルで成長が見込まれていることから、米国や中国では半導体製造装置も中長期的な成長が期待されています。	-	○		○	
ロボット	欧州は景気低迷の影響が懸念されるものの、米国を中心に成長が見込まれています。	○	○	-	○	
自動車	米国の関税政策の影響や、EV販売の停滞などにより、各地域で減速感が出ています。	-	-		-	○
特殊車両	地政学リスクや関税政策の影響などから、各地域で低迷が続く見込みです。	-	△	△	△	
AGV・AMR	関税の影響が懸念されますが、グローバルで成長が続く見込みです。	○	○	○	○	

中期経営計画で推進する 改革プロジェクトの進捗状況



新生IDECKE

顧客中心のビジネス構造へ転換し市場変化への対応力を向上

顧客中心のビジネス構造

- ・ 顧客ニーズに対応するグローバル体制
- ・ 顧客課題を解決するソリューション事業拡大

One IDECの実現

- ・ 事業と拠点のグローバル最適化
- ・ デジタルを活用した顧客満足と効率化を両立するSCMの確立
- ・ One IDECを支える体制整備

2028年3月期目標

売上高 770億円以上

営業利益率 13%以上

ROIC 7%以上

「新生IDECKE」として、**グローバルかつ顧客中心の企業文化へと変革し、高収益企業となるための基盤を作る、各種プロジェクトを推進**

1

グローバル・
マトリックス・
マネジメント組織

2

SCMのグローバル
最適化

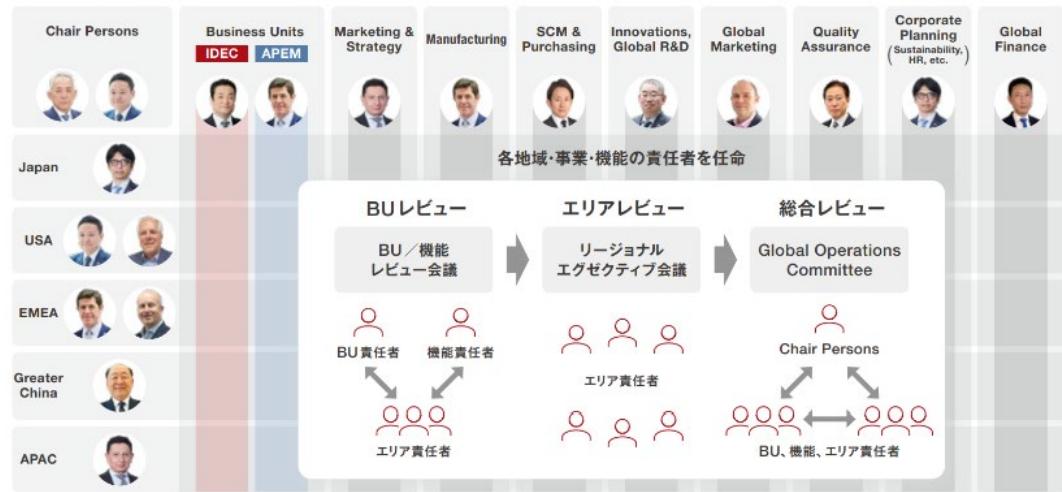
3

R&Dプロセス・
体制の変革

(1) グローバル・マトリックス・マネジメント組織

- 4月に新体制で始動
- **Global Operations Committee (GOC) を設立**し、運用を開始
- 責任を明確化し、月次、四半期の定例会議で情報を共有することで、**迅速な意思決定を実現**
- 各地域、機能別の進捗状況や、各種改革プロジェクト、課題の議論などを実施
- 方針をGOCで決定し、経営会議、取締役会に上程

グローバル・マトリックス・マネジメント組織



GOC会議の様子



- IDEC・APEM、**2つのブランドの特長と専門性を最大限に活かし、グループ全体のパフォーマンスを強化**するため、IDECAPEMの2つのBusiness Unitを設置し、相互にコミュニケーションを図りながら事業を推進

【事業に関する目標】

- ✓ 安全事業の売上高 : 110億円 (2025年3月期) ⇒ **1.5倍** (2028年3月期)
- ✓ ソリューション売上高比率 : 10% (2025年3月期) ⇒ **15%** (2028年3月期)
- ✓ 新製品の販売比率 : 10% (2025年3月期) ⇒ **15%** (2028年3月期)

(1) グローバル・マトリックス・マネジメント組織



IDECK Business Unit

- **安全機器メーカーとしてのグローバルプレゼンス強化**に向けた、製品ポートフォリオの拡充、M&Aやパートナーシップの検討
- 需要が拡大する、人と機械が共に働く環境で安全性と生産性の両立を目指す**「協調安全」分野のニーズを満たす製品、サービス、ソリューションの拡大**
- 日本・欧州・米国で、AGV・AMRをはじめとする**モビリティ向け製品、ソリューションの売上拡大**

HMI-X [Transformation]



APEM Business Unit

- マテリアルハンドリング、建設、防衛、e-Transportation（電気自動車など）の4分野に注力
- **特殊車両向けHMI製品のNo.1サプライヤー**を目指すとともに、建設業界向けのジョイティック開発強化によるプレゼンスの拡大
- **選択と集中**により、成長が見込まれる製品に注力し、売上・利益率の低い製品を廃止
- 安全機能など、**顧客が求める新機能**開発による**高付加価値化**



■ SCPシステムのグローバル展開

- ・前期までに日本、中国などでは導入済み
- ・順次グローバルでの導入を推進中
- ・各エリアの需給情報の収集・一元管理による需給計画の向上



■ 物流網の見直しによるリードタイムの短縮

- ・上期に物流網の構想を検討し、下期に実現に向けたTo-Beモデルを検証
- ・来期からTo-Beモデルでの体制整備をスタート予定

■ IDECとAPEMにおけるサプライヤーの選定・集約による購買効率化

- ・上期にサプライヤー評価基準の見直しと、カテゴリごとのサプライヤー集約を開始
- ・来期からグローバル展開するため、下期より準備を実施

■ 「顧客中心」を実現する、顧客ニーズを踏まえた製品開発プロセスへの見直し

- 上期にプロセスの分析・レビューを実施
- 開発会議の各マイルストーンにおいて、**顧客ニーズを確認して進める新たなプロセス**を設計し導入

■ 日本・米州・欧州の3極体制とし、グループ全体で開発プロセスを標準化して、リソース配分を調整

- 欧州において、APEMのスイッチに加えて、今後需要が拡大する**機能安全**と、**サイバーセキュリティ対策製品の強化**に向けて、**コンピタンスセンターを立ち上げ**
- 今期中に、IDECKEグループ全体で**開発プロセスの標準化**を実施し、**開発スピード短縮**を実現

參考資料

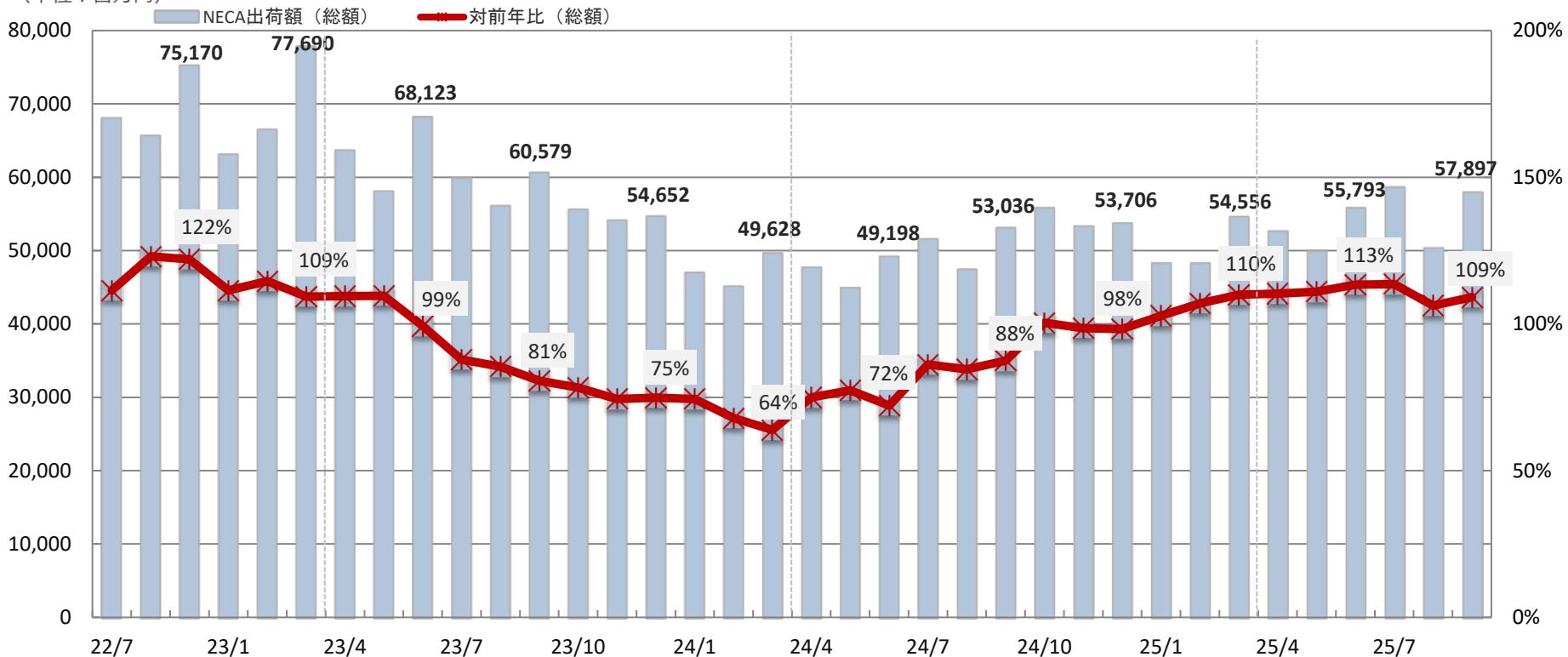
2026年3月期通期 為替レートと為替感応度

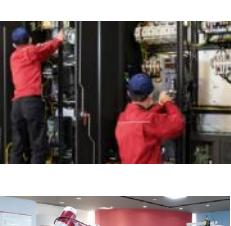


通貨	為替前提	1円変動による影響額 ※人民元は0.1円変動の影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	145円	約100百万円	約10百万円
ユーロ	160円	約110百万円	約10百万円
人民元	20.50円	約40百万円	約5百万円

22年7月～25年9月の業界出荷額推移と対前年比の状況

(単位：百万円)



HMI	インダストリアル コンポーネント	オートメーション& センシング	安全・防爆	システム
<ul style="list-style-type: none"> 制御用操作スイッチ ジョイスティック 表示灯 プログラマブル表示器  <p>APEM製品</p> 	<ul style="list-style-type: none"> スイッチング電源 端子台 制御用リレー/ソケット サー・キット・プロテクタ 産業用LED照明  	<ul style="list-style-type: none"> プログラマブルコントローラ センサ 自動認識機器  	<ul style="list-style-type: none"> 安全関連機器 防爆関連機器  	<ul style="list-style-type: none"> 協働ロボットシステム 表示器複合システム セキュリティシステム その他各種システム   

この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。
従って、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社
経営戦略企画本部
TEL : 06-6398-2505
FAX : 06-6398-2587

